



# 千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.11.18 No. 3495

動労総連合申第1号  
1991年11月14日

東日本旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 住田正二殿

国鉄動力車労働組合総連合  
中央執行委員長 水野正美

## 申入書

動力車乗務員の労働条件と運転保安確立について、1991年7月6日、動労総連合申第16号、また、労働時間短縮等についても動労総連合申第23号より申し入れ団体交渉による解決を求めてきたところである。にもかかわらず会社は、8月6日、申し入れに逆行する「乗務員勤務制度等の改正について」を提案してきた。

動労総連合申第16号、23号、24号に関する団体交渉においても、要求は全く前進していない状況にある。また、「3月ダイヤ改正で実施する」という提案からすればタイムリミットに至っていると考えなければならない。以上の立場から、組合は重大な決意をもって、11月22日までに組合要求の解決に向けて誠意をもって対処するよう強く申し入れる。団体交渉によりすみやかに解決されたい。なお、上記による解決がない場合は、11月22日に、解決を求めてストライキを実施するので念のため申し添える。

### 記

1. 動力車乗務員の労働条件について、動労総連合申第16号、24号により誠意をもって解決されたい。
2. 労働時間短縮等について、動労総連合申第23号により誠意をもって解決されたい。

# 万全のスト体制を!



## 当局は二十二日までに誠意をもって回答せよ

### 労働時間の切り刻みを許すな!

われわれは、動乗勤改悪をはじめとした勤務制度の全面的改悪を断じて認めることはできない。

「待合せ時間は労働時間にカウントしない」「昼ま駅に人を置いておくなどという無駄なことはできない、五時間休憩時間をやるからどこへでも行っている」などと、当局の好き勝手に労働時間を切り刻まれて、朝早くから夜中までこき使われてはたまったもんじゃない! われわれは、分割・民営化以降のひどい労働条件と低賃金、労働者を人とも思わない差別、薄氷を踏むような安全無視の中でも、「安全を守っているのは俺たちだ」という誇りをもって、必死で働いてきた。

しかし、がまんももう限界だ。しかも、「来年三月に時短をする」と言うかと思えば、その中味は、非現業は一三日間の休日増、一線で働く現業はわずか五日間というのだ。こんな企業が一体何処にあるのか!

何が「人間尊重企業」だ、JRになれ

## 「カネ」での取り引きを許さないぞ!

JR東労組・松崎は、動乗勤裏切り妥協のために、様々な裏工作、画策をはじめている。組合員をペテンにかけ、形ばかりの「反対」の声をあげ、妥協の口実を探っているのだ。動乗勤改悪をわずかの「カネ」で取り引きすることなど断じ

## 十四日、「申入書」を提出!

動労総連合は、十一月四日、組合要求の誠意ある解決を求めて、再度本社に「申入書」を提出した。解答期限は二二日である。

もし誠意ある解答がなされない場合は、二二日正午より、断固として第一波ストライキに起ちあがる! JR東労組の裏切り妥協を粉砕しよう! 動乗勤改悪を阻止しよう!

俺はおとなしい人間だ。

今日はおとなしい、

明日もおとなしい。

だが、

それからもおとなしいとは限らない。

ドストエフスキー

ばバラ色の未来が保障されていると言ったのは誰だ、安全は一体何処へ行ってしまうのか!

今こそ、闘いの旗を掲げ、怒りの拳をふりあげて、自らの手で未来を切りひらかなければならない。

てできない! 松崎は、JR総連の空中分解が、来年は確実に東日本で火を噴くことを目前にして、当局の言いなりに動乗勤改悪の手先となることで、何とか生きのびようとしているのだ。

## 「運転保安確立! JR5万人体制」粉砕!

